

2018年7月16日(月・祝)

瀬戸大橋開通30周年記念 瀬戸内を語るシンポジウム2018in直島開催 & チャリティ募金活動実施

OH!マイ瀬戸内キャンペーンのひとつとして、7月16日香川県直島町直島ホールにて、「瀬戸大橋開通30周年記念事業 瀬戸内を語るシンポジウム2018in直島」が開催されました。シンポジウムでは、現代美術家の日比野克彦さんをナビゲーターに、応募で集まった4歳から70代までの約100人の参加者が1チーム25人前後の4チームにわかれ、4つの無人島にたどり着いた漂流船に乗り合わせた仲間としてそれぞれの島で島づくりを行うワークショップが行われました。



ワークショップでは、1時間で60年後までの未来を想像し、島でどうやって生きていくかを各島で真剣に話し合われ、島をかたどった大きな紙の上に色画用紙やマジックペンで学校や病院、風力発電や飛行場などの施設が作られていきました。

災害を想定して安全な場所に住民の居住エリアを設定するなど計画的に島づくりを行う島や、住民が必要だと思うものを各々自由に作っていく島など、個性的な島が出来上がっていきました。そして、4つの島を繋ぐ大きな橋が掛けられて島どうしの交流ができるようになると、他の島のアイデアを自分の島に取り込むなどしてそれぞれの島がさらに発展していきました。

このシンポジウムの模様は8月4日(土)13:00からの番組で放送されます。

岡山放送は、これからも世界に瀬戸内の魅力を発信し続けるとともに、瀬戸内に住む皆様と一緒にこれからの瀬戸内の未来について考えていきます。

また、会場ではこの度の豪雨で被災された方々への募金活動も行われ、27,125円の浄財が集まりました。この浄財は岡山県を通じて被災された方々に贈られます。ご協力ありがとうございました。

